JES和文原稿テンプレート ― 必要に応じて副題 ―（題目・MS明朝18・英数字はTimes New Roman 18・中央揃え）

（1行空ける 11・本行は提出時には削除し，空白行を挿入すること）

黒木 賞三郎（赤田大学）（氏名及び所属・MS明朝・14・中央揃え）

青森 明彦（青木教育大学 非常勤講師）

琵琶 真一（青木教育大学 大学院生）

唐津 花子（桃島市立二里小学校）

（1行空ける 11）

キーワード：（3語。日本語はMS明朝，英語はTimes New Roman・12・中央揃え）

（1行空ける 11）

**要旨** （MSゴシック・12・太文字・中央揃え）

（1行空ける 11）

本稿の研究において…（本文・MS明朝・10.5・1行目のみ文頭全角1文字分空ける）……………3つの点が明らかとなった。…（要旨を10～15行で書く。2行目以降は左端スペース空けず，両端揃え・句読点：全角の「，」「。」を用いる。数字は桁数に関係なく全て半角。）…………

（1行空ける 11）

**1．はじめに**（MSゴシック・12・太文字・中央揃え・番号半角）

（1行空ける 11）

今日の外国語教育では，英語によるコミュニケーション能力の育成に向けたツールとして，授業においてさまざまな学習支援アプリが使用されている。本研究では，その中でも，小・中・高等学校を通じて普及が進んでいる自動音声認識ソフトに着目し，………………その有用性について考察する。（本文・MS明朝・10.5・各段落1行目文頭全角1文字分空ける。両端揃え・句読点：全角の「，」「。」を用いる。数字は桁数に関係なく全て半角。）

（1行空ける 11）

**2．先行研究**（MSゴシック・12・太文字・中央揃え・番号半角）

（1行空ける 11）

外国語活動における情意面に関する研究…（本文・MS明朝・10.5・各段落1行目文頭全角1文字分空ける）…………以下の点が報告されている。（本文・MS明朝・10.5・各段落1行目文頭全角1文字分空ける。両端揃え・句読点：全角の「，」「。」を用いる。数字は桁数に関係なく全て半角。）

（1行空ける 11）

**3．研究方法** （MSゴシック・12・太文字・中央揃え・番号半角）

（1行空ける 11）

**3.1　参加者**（MSゴシック・12・太文字・左揃え・番号半角）

本研究における参加者は…である。（本文・MS明朝・10.5・各段落1行目文頭全角1文字分空ける。両端揃え・句読点：全角の「，」「。」を用いる。数字は桁数に関係なく全て半角。）

（1行空ける 11）

**3.2　方法**

実験や調査を伴う研究の場合には，どのような倫理的配慮を行ったかを具体的に記述する。書き方は以下を参考にすること。

通常の外国語の授業時間に事前テストを実施した。その後，4週にわたり，1クラス（処置群）はSpeechnotesを用いたスピーキング活動を帯活動として毎時間実施し，もう1クラス（対照群）は歌やチャンツを用いた通常の帯活動を行った。単元終了後の翌週の授業時間に，事後テストを実施した。本研究では，実施に先立ち，研究の趣旨，ならびに，本研究の参加により①児童の正課授業に支障をきたさない，②正課の成績に影響を与えることはない，③個人情報は匿名化され適切に管理される旨を文書と口頭で参加児童の保護者に説明し，文書で参加の同意を得た。対照群には，本研究終了後に実施した単元でSpeechnotesを用いた帯活動を毎時間行い，教育内容の均等性を図った。

（1行空ける 11）

**4．結果** （MSゴシック・12・太文字・中央揃え・番号半角）

（1行空ける 11）

図や表を掲載する場合は，図表番号，タイトル，図表のすべてを，左寄せとする。図表番号はいずれも図及び表の上に配置する。

（1行空ける 11）

**注**（MSゴシック・12・太文字・中央揃え）

（1行空ける 11）

1. 本稿における外国語活動の定義は，…………（本文・MS明朝・10.5・1行目文頭スペースを空けない・番号半角・両端揃え）

2. 学習支援アプリとは，…………

（1行空ける 11）

**謝辞**（MSゴシック・12・太文字・中央揃え）

（1行空ける 11）

本研究は……………………..の協力を得ている。ここに感謝の意を表する。（本文・MS明朝・10.5・1行目文頭全角1文字分空ける。両端揃え・句読点：全角の「，」「。」を用いる。）

（1行空ける 11）

**引用文献**（MSゴシック・12・太文字・中央揃え）

（1行空ける 11）

磐梯二郎（監修）(1958).『英語の歴史』東南書店．

磐梯二郎 (1980).「発達段階に応じた英語指導法 ―書くことの活動に焦点を当てて― 」『英語教授法』第2号，第2巻，211-219．

琵琶真一・青森明彦・Stephen, D. H. (1986).「英語でコミュニケーションをする生徒の特徴」『猪苗短期大学紀要』第1号，第2巻，27-46.

Carter, R., & McCarthy, M. (1988). *Vocabulary teaching*. Wiseman.

Kusatsu, S. (2000). *Nihon no rekishi* [Japanese history]. Shinzanshoten.

King, J. A. (1996). The role of episodic memory. *SELE Quarterly, 22*(2)*,* 17-39.

文部科学省 (2017).『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語活動・外国語編』https://www.mext.go.jp/content/20201029-mxt\_kyoiku01-100002607\_11.pdf

長野三郎 (1997).「Native Speakerの研究」『20世紀の英語教育』8月号，1-13．武山書店．

白河明士 (2003).「第2章3節　4技能の統合的教授法」山城護郎・筑波太郎・平泉一吉（編）『21世紀の英語教育研究』(pp. 101-126) 太平洋書店．

（引用文献和書・MS明朝・10.5・文頭スペースを空けず，2行目以降を字下げする。両端揃え・年号Times New Roman，年号を囲む（）及び年号の後のピリオドは和書も半角。順序は，和書と洋書の文献を混ぜて，アルファベット順に書くこと。洋書の文献については，*Publication Manual of the American Psychological Association* (American Psychological Association)の第7版に準拠すること。）